

七宝焼き

七宝焼きは、金属素材の上にガラス素材の七宝絵の具をのせ、炉に入れて焼くことで、オリジナルの作品を創造する活動である。自らの手で作品を作り上げる喜びを体験することができる。とともに、作品を見て研修の素敵な思い出を振り返ることもできる。

○所要時間…2時間以上

○対象…小学校高学年以上

○定員…40名

○指導…職員指導なし※前半に職員の説明あり

活動時間

9:30~12:00 または 13:30~16:00

○団体が用意するもの

雑巾、ごみ袋、新聞紙、ティッシュ
ブローチ（購入）または
キーホルダー（購入）⇒活動場所



○貸出物品⇒活動場所

七宝焼き材料、電気炉、接着剤、革手袋
おけ、金網、木の棒、紙やすり、火ばさみ



○事前準備…動画視聴

説明動画は ⇒[こちら](#)



○活動手順

【活動前】

- ・職員が開始1時間以上前から電気炉のスイッチを入れる。
※800℃以上の高温になるため、絶対に近づかない。

【活動時】

1. 道具を準備する。

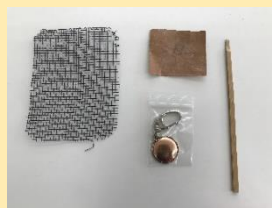
- ・グループ（4～6人程度）になり、新聞紙を敷く。

【グループに配るもの】



水入れ・皿（数枚）・おけ・新聞紙・接着剤

【個人に配るもの】



金網・木の棒・紙やすり
ブローチまたはキーホルダー

2. 職員が活動手順を説明する。

3. 銅板の両面にやすりをかける。

- ※できるだけ銅板ではなく、ふちを触る。

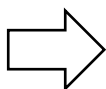


職員が説明

4. 銅板の裏側（凹面）に2mm程度ゆう薬をぬる。

※ゆう薬がつかないように袖をまくる。ゆう薬が目に入らないように注意。

おけ内の再利用のゆう薬を使う。銅板に乗せて垂れなければOK。水の入れすぎに注意！



ふちは少し残す。

5. ひっくり返して、表面（凸面）に2mm程度ゆう薬をぬる。

※細かい模様は上手にできない可能性あり。



1色使い終わったら木の棒を水で洗い、ティッシュでふいて次の色を使いましょう。

6. 模様が完成したら、金網に乗せて引率者に渡す。



7. 引率者は革手袋をし、火ばさみで金網をつかんで電気炉の中のクラの上に置く。



焼きすぎると、焦げる場合があります。
温度が高い場合は、20, 30秒で一度確認するのがおすすめです。

800℃で1分程度待つ様子を見えます。
まだ粉っぽければ、さらに焼いてください。
炉内の温度によって焼き時間が変わります。



クラ



8. 全体があめのようになり赤黒くなったら金網ごと取り出して冷ます。

※取り出した七宝焼きはとても熱いので絶対に触らない。電気炉の隣にあるブロックに置く。

このようにとろっとなったらOKです。



9. 冷めたら、キーホルダーの接着面にやすりをかけて接着する。



10. 活動終了後、片付けと掃除をする。

- ・貸出物品は最初と同じように固めて置く。
 - ・ゆう薬はおけの上ですすいで1つに集める。（いっぱいになったら上澄みの水だけ捨てる。）
- ※ゆう薬をシンクに流さない。

- ・ゴミは団体で回収。
- ・机の上を雑巾で拭く。
- ・床を掃除する。
- ・机や椅子をもとの位置に戻す。

大研修室と中研修室の間に掃除用具箱があります。
ほうきでごみを集め、掃除機で吸い取ってください。